



ずっとずっと♪木佐木のよい子♪

本校のこれまでの職員も、現在の職員も、校歌の中にある「木佐木のよい子」という言葉にいつも救われています。それは、心の底から

けると「ああ、
す。いけない
反省する姿を
子だよ
にいた

そう思えるからです。優しく友だちに声をかける姿を見か
木佐木のよい子だ。」と職員どうして話していま
ことをしてしまった子どもが、最後に素直に見せてくれると「やっぱり、木佐木のよい
ね。」とまるで申し合わせたように、近く
職員は子どもに声をかけています。

この校歌の歌詞を作詞されたのは、大木町出身の詩人「松永伍一」先生です。伍一先生の大木町に対する思いは総合体育館入口に記念の石碑としても残されています。

私もこれまで何度か、以前の大木町の生活を子どもたちにふりかえらせるために感性に溢れた先生の作品を使用させていただきました。

時が流れ、生活様式も変わりました。人権意識の高まりもなりました。当時の考え方を表について、次代を生きていく子歌わせることがどうなのか様々うになりました。調べてみます話題に上がったことがあるそうで

さて、
てまいり
見られるように
した歌詞の一部分
どもたちにそれを
な意見が聞かれるよ
とこれまでも、何度か
す。

伍一先生やご家族の思い、
いを大切にしながら、
木佐木のよい子
続けて

【松永伍一先生】

これまで歌い続けてきた地域の方々の思
一部歌詞を変更することで、これからも
一人ひとりが堂々と胸を張って校歌を歌い
いってもらいたいと考え、ここに辿り着き
ました。これまでの多くの関係者の方々の
ご協力に感謝申し上げますとともに、皆様
のご理解の程、よろしくお願ひいたします。

校歌の歌詞を一部変更しました

木佐木小学校校歌

作詞 松永 伍一
(令和二年補作詞)
 作曲 森脇 憲三

一

背振がまねく みどりの平野
 みんなのびるよ 木佐木のよい子
 豊かな町を きずくのだ
 心はきよく つつましく
 さあさあ 手をとって
 草笛ふこう 太陽に
 草笛ふこう 太陽に

二

花がよんでる みどりの平野
 みんな強いぞ 木佐木のよい子
 明るい日本を きずくのだ
 心は広く あたたかく
 さあさあ 手をとって
 草笛ふこう にじの輪に
 草笛ふこう にじの輪に

三

夢がもえてる みどりの平野
 みんなやさしい 木佐木のよい子
 平和な世界を きずくのだ
 心は高く ほこらしく
 さあさあ 手をとって
 草笛ふこう 青空に
 草笛ふこう 青空に

＜歌詞変更までの経緯＞

- (1) ここ数年、毎年のように地域の方々や職員から歌詞の見直しの意見が出される。
- (2) 2019年4月1日 「大木町男女が認め合い社会参画を推進する条例」が制定される。
- (3) 2020年1月8日 人権についての校内研修の中で再びこのことが話題となり議論される。
- (4) 2020年1月9日 大木町教育委員会に歌詞の一部変更への動きを報告する。
- (5) 2020年1月15日 南筑後教育事務所 人権・同和教育室に相談する。
- (6) 2020年1月15日 木佐木活性化協議会会長及び交流委員長に説明を行い、変更への手順を確認する。
- (7) 2020年1月16日 松永伍一文学保存の会の鳥取英記会長様を訪ね、伍一先生のご家族に変更の主旨と内容を伝えていただき了承を得る。
- (8) 2020年1月20日～卒業生等に尋ねながら修正をくり返し、最終変更案にまとまる。
- (9) 2020年1月28日 歴代PTA会長会久良木会長様より近藤征治様へ連絡。娘様方の了解を再度得る。
- (10) 2020年1月30日 臨時木佐木小学校歴代PTA会長会を開催し、意見をいただき決定する。



○原詞は「原詞」と掲示して残す ○ご家族へお礼の手紙を出す ○全戸へ広報する

- (11) 2020年1月30日 近藤征治様へ連絡、学校よりFAXで報告。
大莞在住の松永一完様へ電話連絡、了承を得る。
- (12) 2020年2月3日 決定した変更の歌詞を松永伍一先生のご家族に学校よりお礼状として報告する。
- (13) 2020年2月19日 木佐木小学校学校運営協議会にてこれまでの経緯と新しい歌詞を報告する。
- (14) 2020年6月 令和2年度より変更した歌詞を子ども達に伝え、歌い継がせる。
現在の玄関前と体育館の歌詞の掲示物については、「原詞」ということで残す。

みんなで元気に歌える日まで 負けるな木佐木のよい子たち！